

交差模様のクラッチバッグ

【用具】

2本針ジャンボ 15mm
ジャンボかぎ針「アミュレ」 8mm

【材料】

クロバー ルネッタ 60-509(赤) 1玉
または
クロバー ルネッタ 60-579(グレー)1玉

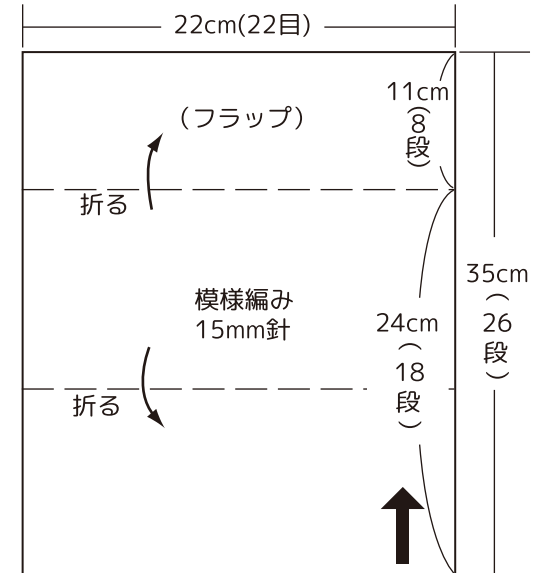
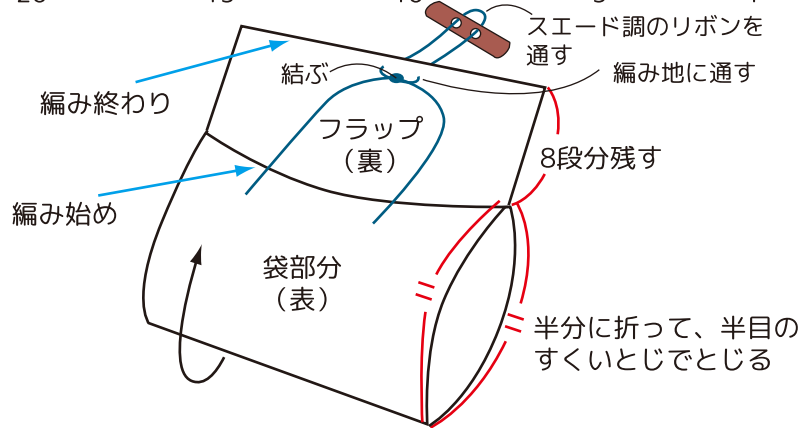
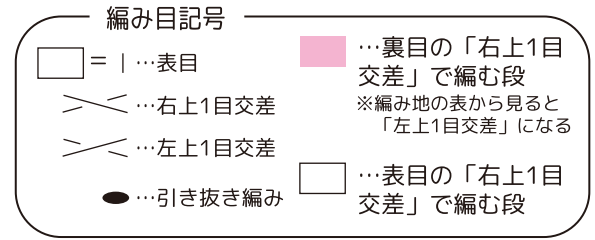
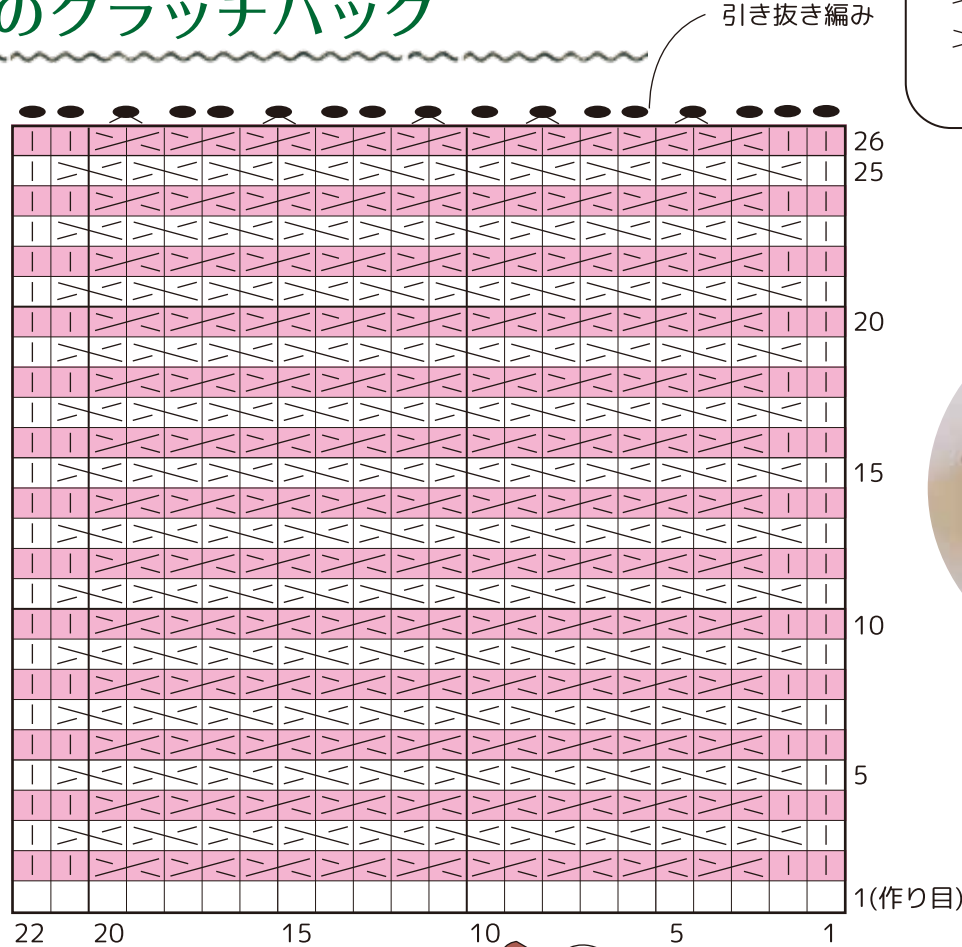
トグルボタン ……50mmくらいのもの 1個
スエード調のリボン…1m

【編み方】

- ① ジャンボかぎ針8mmを使って、共ぐさりの作り目で22目作ります。拾いにくいので、かぎ針を使って目を拾い、棒針にかけます。
※詳しい拾い方は2枚めを参照してください。
- ② 模様編みで26段編みます。表目の段は「表編みの右上1目交差」を、裏目の段は「裏編みの右上1目交差」を編みます。
※編み方は2枚めを参照してください。
- ③ 最後は、ジャンボかぎ針8mmを使って指定通りに引き抜き編みをします。
- ④ 両端を半目のすくいと同じにします。
- ⑤ トグルボタンの穴にスエード調のリボンを通し、フラップの表側からリボンを編み地に通します。通したリボンはフラップの裏側で結んでおきます。

【できあがり寸法】

※閉じた状態
横 約22cm
縦 約11cm



～編み方説明編～

【作り目】*共糸くさりの作り目*

ジャンボかぎ針8mmを使って作り目をします。



くさをりを22目編み、かぎ針にかかっている目を棒針に移します。その目が1目めになります。



次の裏山に針を入れ、糸をかけて引き出します。

この時、棒針〈15mm〉にかけられるくらいに引き出しておきます。



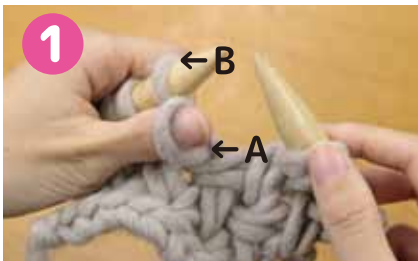
引き出した糸を棒針にかけて、2目めができました。

これを繰り返します。

※編み始め部分をキュッと締めるためにくさりの裏山を拾います。やりにくい場合は、かぎ針で編み付ける作り目でも同様の見た目になりますが、仕上がりは少しゆるくなります。

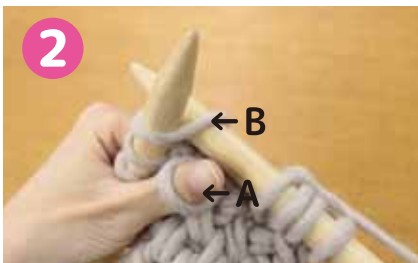
【表編みの右上1目交差】

編み地の表を見て編む段(奇数段)で編みます。



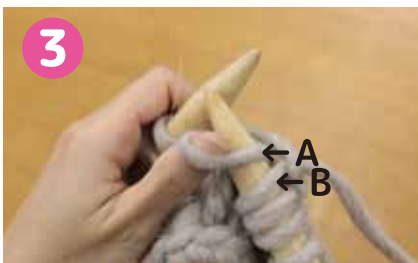
1目交差を編む目(A、Bと呼ぶ)のうち、手前の目(A)を親指にかけます。

※Bの目は針にかけたままにしておきます。



奥側の目(B)を先に、表目で編みます。

※表目を編んだら、左の針からはずします。



親指にかけた目(A)を表目で編みます。

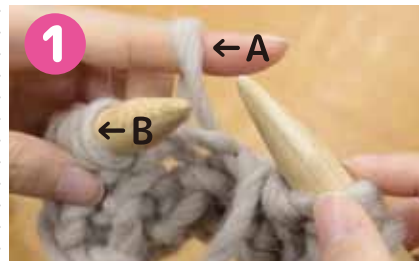
※親指にかけておいた目は針に戻して編んでもOKです。目がねじれないように注意してください。



右上1目交差ができました。

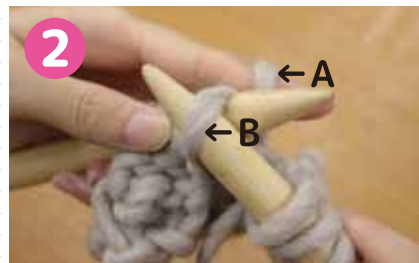
【裏編みの右上1目交差】

編み地の裏を見て編む段(偶数段)で編みます。表から見ると「左上1目交差」になります。



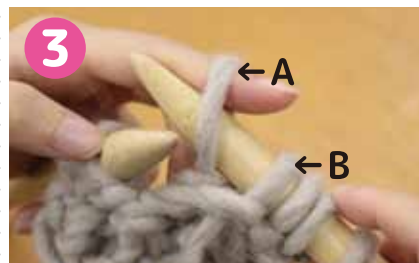
1目交差を編む目(A、Bと呼ぶ)のうち、手前の目(A)を人差し指にかけます。

※Bの目は針にかけたままにしておきます。



奥側の目(B)を先に、裏目で編みます。

※裏目を編んだら、左の針からはずします。



人差し指にかけた目(A)を裏目で編みます。

※人差し指にかけておいた目は針に戻して編んでもOKです。目がねじれないように注意してください。



裏目の右上1目交差ができました。

編み地の表から見ると、左上1目交差になっています。